

# 顔面神経麻痺について

やまおか耳鼻咽喉科

## 1. 顔面神経麻痺とは

- 1) 突然、顔の片側が動きが悪くなってしまう病気です。
- 2) 顔面神経と言う顔を動かす神経の働きが悪くなるために起こります。
- 3) 原因不明の場合をベル麻痺。ヘルペスウイルス感染が明らかな場合をハント症候群といいます。
- 4) ハント症候群の場合は、耳介の帯状疱疹、聞こえの低下、めまいなどを伴います

## 2. 顔面神経麻痺は治りますか？

- 1) 発症から1週間以内に、初期治療を行うと治りが良いと言われています。
- 2) 早く治療した方、年齢の若い方は治りが良いと言われています。
- 3) ベル麻痺の場合は、8割位の方が、完治または現状より改善しますが、ハント症候群の場合はそれが6割位に低下します。

## 3. 顔面神経麻痺の病態

- 1) 顔面神経は、脳から出て、耳の後ろを通り、耳の下から 顔面へ5つの枝を出します。 耳の後ろを通るときに骨の管の中を通りますが、ここで炎症を起こすと言われています。 細く形に下の中で神経が腫れるので、血流が悪くなり、余計に損傷が進みます。 この時点で、ステロイド、抗ウイルス剤などを使って、できるだけ炎症を抑えることが大切になります。
- 2) 発症から1週間位の間は、顔の動きが悪くなって行きます。 ある程度の期間悪化した状態が続き、徐々に動きが回復してきます。 顔面が動き始めるまでの期間は、人により 2～3週間から半年～1年と大きな差があります。
- 3) 始めの神経の損傷具合によって、顔面が動き始めるまでの期間と、最終的な治り具合が決まります。

## 4. 顔面神経麻痺の治療

- 1) 1番大切なのは、安静を取ることです。 過労やストレスは絶対にダメです。
- 2) 基本的にはステロイド剤を使います。 内服ステロイド治療の場合、1コース9日間かかります。途中で薬を止めることができず、指示された通りにきちんと内服する必要があります。
- 3) 糖尿病、高血圧、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、緑内障がある場合は、ステロイド治療ができないか、厳重な管理下で行う必要があります。
- 4) ステロイドは、副作用で免疫を低下させるため、感染症にかかりやすくなります。 感染症予防のため、自宅安静が必要になります。
- 5) ハント症候群の場合は、抗ウイルス剤を使います。 ベル麻痺の場合も、少量を使うことが多いです。
- 6) 神経保護剤の内服をします。目が閉じなくなるので、乾燥抑える点眼薬を使います。
- 7) リハビリテーションを行います。一番大切なのは、大きな表情を作ってはダメと言うことです。

<詳しくは、当院のホームページをご覧ください>

顔面神経麻痺について

<http://www7b.biglobe.ne.jp/yamaoka-ent/FNP.pdf>



顔面神経麻痺のリハビリ

<http://www7b.biglobe.ne.jp/yamaoka-ent/FNPreha.pdf>

